

県南農林だより No.44

～ふくしまから はじめよう「食」と「ふるさと」新生運動ニュース～



ライトアップされた白河駅 ✨

農林業関係の動き

- 全国優良経営体表彰で白河市の北條雄三氏が受賞されました！
- 鳥獣被害防止モデル集落の取組を紹介しました！
- 令和3年度林業コンクール等表彰式が開催されました！
- 「夏の農産物スタンプラリー」抽選会を開催しました！
- ふくしま県GAP（FGAP）認証書交付式を行いました！
- 第2回「令和の森」植樹祭が開催されました！
- フレッシュ農業講座を開催しました！
- 令和3年度第9回JA東西しらかわ肉用牛共進会が開催されました！
- 高校生の林業現場見学会を開催しました！
- 西郷農業塾（修了式）が開講されました！
- 6次化商品販売会「しらかわ食・人フェア2021」を開催しました！
- フラワーアレンジメント教室が開催されました！
- 西郷ダムの堆砂状況および地山崩落状況の現地調査を実施しました！

コラム

県南地方の農産物直売所 ～番外編～
北條農園の6次化商品
ケーフーズ生田目の6次化商品

お知らせ

米価下落に伴う営農相談窓口を設置しました
新型コロナウイルス感染症の支援などに係る情報

令和3年12月発行

農

林

業

関

係

の

動

き

農業振興普及部

全国優良経営体表彰で白河市の北條雄三氏が受賞されました！

祝

11月18日(木)、令和3年度全国優良経営体表彰の表彰式が開催され、経営改善部門で白河市の北條雄三氏が全国担い手育成総合支援協議会会長賞を受賞しました。

全国優良経営体表彰は、農林水産省及び全国担い手育成総合支援協議会が主催し、農業経営の改善や地域農業の振興・活性化に優れた功績をあげた農業者を表彰するものです。

Check!!

御家族とともに経営する北條農園では、ももや日本なし、りんごなどの果樹を基幹品目として、多目的防災網や防霜ファン、日本なしジョイント栽培などの先進的な技術導入や、エコファーマーとしての環境と共生する果樹栽培など生産改善に取り組むとともに、消費者のニーズに対応した直売、贈答出荷を中心とした販売形態により所得の安定を図っています。また、奥様の睦子氏が中心となり、農園内に設置した農産物加工施設で果実を原料にした飴やジュース、ジャムなど6次化商品の開発にも力を入れており、市内の直売所等で販売を行っています。



受賞された北條雄三氏と奥様の睦子氏

北條さんは、現在福島県指導農業士として研修生の受入や後進の指導にあたるとともに、JA夢みなみ果樹部会副会長、福島県果樹経営者研究会副会長の各要職を務め、地域農業の振興にも努められています。今後も地域の中心的経営体として地域農業を牽引していかれることが期待されています。

農業振興普及部

鳥獣被害防止モデル集落の取組を紹介しました！

10月26日(火)、東白川農業委員会連合会が開催しました農地・農業振興事業研究会で、福島県で実施している鳥獣被害防止対策の総合的な対策を行うモデル集落の取組を紹介しました。

モデル集落は、鳥獣による農作物等の被害軽減のため、住民が主体的に地域ぐるみで、「①ヤブの刈り払いや不要果樹の伐採などの生息環境管理」、「②電気柵や物理柵などの被害防除」、「③被害を及ぼす鳥獣の有害捕獲」の3本柱を総合的に取り組み、効果を実証するものです。当所では、令和2年度から棚倉町大梅地区をモデル集落として設置しています。

棚倉町保健センター会議室において、モデル集落の概要について説明した後、大梅集落に移動し、令和2年度に実施した集落環境診断(集落の状況やイノシシ等の出没状況を共有すること)結果をもとに、参加者全員で歩いて現場を確認しました。



鳥獣被害防止モデル集落の取組を紹介している様子

住民主体による鳥獣被害防止対策の総合的な対策が県南地域に定着するよう、引き続き推進を図っていきたいと思います。

令和3年度林業コンクール等表彰式が開催されました！



10月24日(日)に、郡山市安積町のホテルバーデンにおいて、林業コンクール等表彰式が開催されました。この表彰式は、毎年、福島県林業祭の開催に併せて行われています。県が主催する福島県林業コンクール、福島県学校関係緑化コンクールのほか、福島県きのこ品評会など関係団体等が主催する3つのコンクールの受賞者を合同で表彰しています。今年の表彰式は、コロナウイルス感染防止対策のため代表者による受賞のみ行い、式典への参加人数を制限する形となりました。当管内からの受賞者は、次のとおりです。

なお、後日、受賞された関係者の方々に、酒井部長から表彰状を贈呈しました。

👤 当管内からの受賞者

コンクール名	賞	氏名	市町村名
福島県林業コンクール	福島県木材協同組合連合会長賞	鈴木 寛重	鮫川村
福島県学校関係緑化コンクール	(公社)福島県森林・林業・緑化協会会長賞	泉崎第二小学校	泉崎村
福島県森林組合連合会良質材展示会	一該当なし		
ふくしま森林・林業写真コンクール	福島県知事賞	黒沢 文	白河市
	(一財)福島県林業会館理事長賞	鈴木 達也	白河市
福島県きのこ品評会	福島県民友新聞社社長賞	芳賀 敏	中島村
	福島県きのこ振興協議会会長賞	芳賀 大輔	中島村
		(※敬称略)	



👉 表彰式会場の様子

👉 代表授与

「夏の農産物スタンプラリー」抽選会を開催しました！

10月14日(木)、白河合同庁舎大会議室において、「夏の農産物スタンプラリー」抽選会を開催しました。本キャンペーンは、消費者の皆様へ地産物の農林水産物の安全性やおいしさの魅力を知っていただき、地産地消を推進する目的で、8月12日から9月30日まで西白河・東白川地方の農産物直売所19店舗で開催しました。

抽選会には、阿武隈川の源流から生まれた水の妖精「みなもん」がかけつけ、応募総数451口の中から当選者50名を、前田所長のくじ引きにより決定し、当選者自身が選択した農産物直売所の商品2,500円分をプレゼントしました。



👉 当選者を抽選する前田所長(中央)

11月17日(水)、県白河合同庁舎において、ふくしま県GAP(FGAP)の認証書交付式を開催しました。交付式には、ベグハウスコバヤシの小林賢司氏(矢吹町)が出席され、前田所長より認証書を交付しました。

小林氏は、水耕栽培の野菜(ほうれんそう、みずな、こまつな)で認証を取得し、「大手量販店との取引において、GAP認証取得を求められ、今回の取得に至った。現在はコロナ禍で外食産業での需要が減るなど厳しい状況にあるが、今後外食産業の回復を見据えながら計画的な作付けを行い、安定出荷につなげていきたい。」との抱負を語られました。



FGAPを取得された小林氏(右)と前田所長(左)

Point!!

ふくしま県GAP認証制度とは？

「放射性物質対策を含めた本県独自の基準に基づき、GAPを実践する生産者・団体を県が認証する制度で、より良い農業の証になるもの」です！

県では、ふくしま県GAP認証制度を通して、食の安全性の確保と風評払拭を進めており、今回の認証取得を含めて、当管内でのFGAP認証取得は**18件**(高等学校を含む)となっています

なお、GAPに興味がある方や認証取得を考えている方は、当事務所農業振興普及部までお問い合わせください。

森林林業部

第2回「令和の森」植樹祭が開催されました！

10月29日(金)に、白河市関辺において、藤田建設工業(株)等による第2回「令和の森」植樹祭が開催されました。この植樹祭は、森林資源を活かした循環型社会の構築に貢献するため、昨年からはじめられた取組です。当日は同社をはじめ、グループ企業の(株)シーズ、(株)藤建技術設計センター、農事組合法人ひかり等から総勢約200人が参加し、早生樹であるコウヨウザン**1,000本**を植樹しました。



植樹作業の様子



昨年植栽したコウヨウザン(樹高約80cmに成長)

県南地方でよく見られるスギやヒノキは、植えてから木材として使えるようになるまでに50年程度かかるのに対し、コウヨウザンは成長が早く30年程度で使えるようになるため、自分たちが苗木を植えたことを実感しながら、その木を使うことができます。また、県内にコウヨウザンの大規模な植栽地がみられないことから、森林づくりの新たな試みとして期待されます。

同社では来年も植樹祭を計画しており、県もコウヨウザンの植栽や生育に関する情報提供などを行い、皆さんと協力しながら地域の森林づくりの取組を進めていきます。

フレッシュ農業講座を開催しました！

農業者等との交流を通じて地域農業に対する理解を深めることを目的に、白河実業高校と修明高校の2校を対象にフレッシュ農業講座を開催しました。

10月13日(水)、白河実業高校2年生37名が白河市で果樹を主体とした複合経営を行っている北條農園を訪問し、園主の北條雄三氏から家業としての果樹栽培の歴史、りんごや梨の栽培技術、妻の睦子氏から規格外品等を原料とした加工品づくりの取組の経過や販売実績について説明を受けました。生徒から「梨はどんな品種を栽培しているのか?」、「つくりやすい梨の品種は?」などの質問がありました。



りんご栽培説明の様子
【北條農園】



鉢花の育種の説明
【(有)矢祭園芸】

また、10月18日(月)、修明高校1年生39名が矢祭町でシクラメンやカーネーションなどの鉢花栽培を行っている(有)矢祭園芸を訪問し、代表の金澤美浩氏から個人事業者から法人経営へ移行した経緯や鉢花生産における栽培技術や育種、経営販売実績について説明を受けました。生徒から「品種登録までに何年かかるのか?」などの質問がありました。

両校の生徒は、この講座を通じて、地域で農業を続ける苦労や楽しみ、農業と地域の関わり、農業経営の魅力について学びました。

令和3年度第9回JA東西しらかわ肉用牛共進会が開催されました！

9月24日(金)、東西しらかわ農業協同組合畜産振興集出荷場において、第9回JA東西しらかわ肉用牛共進会が開催されました。

本大会は、JA管内の和牛改良を一層進めるとともに、和牛繁殖経営基盤の維持拡大を目指して、和牛生産者の意識の高揚と飼養管理技術の向上を目的として開催されています。

各支部から選抜された合計13頭が第1区、第2区に出品され、厳正なる審査の結果、第1区優等賞主席の『とくら117号』(鮫川村 関根徳次氏所有)がグランドチャンピオンに選定されました。



グランドチャンピオン『とくら117号』と関根徳次氏(左端)

『とくら117号』は、第2区優等賞主席の『れいわ号』(埴町 八幡守泰氏所有)とともにJA東西しらかわ管内の代表牛として、9月28日開催の第31回JAグループ和牛育成管理共進会に出品されました。

高校生の林業現場見学会を開催しました！

10月4日(月)に、林業分野への新規就業者の確保に向け、若年層や教育関係者の林業・木材産業への理解促進を図るため、高校生を対象とした林業現場見学会を開催しました。

当日は、県立白河実業高等学校1年生26名と教諭3名の合計29名が参加し、白河市での立木伐採現場と泉崎村の菌床しいたけ栽培施設を見学しました。

立木伐採現場では、作業員によるチェーンソーでの伐採作業や高性能林業機械による伐倒・玉切り作業の見学を行った後、チェーンソー・高性能林業機械の操作体験を行い、林業の現場作業を体感してもらいました。

菌床しいたけ栽培施設では、施設菌床の製造に使用されるおが粉などの資材のほか、製造した菌床からしいたけを発生させるまでの工程について、施設を移動しながら職員の説明を受けました。

また、見学の最後には、しいたけの収穫を体験しました。

参加した高校生からは、「実際に機械に乗ることができ貴重な体験となった。」「女性でも林業で活躍できることがわかった。」「しいたけの栽培方法が良くわかった。」などの感想が聞かれました。県ではこれからも、林業への就職に関心を持っていただけるよう林業現場見学会などの取組を継続してまいります。



チェーンソー操作体験の様子



菌床しいたけ栽培施設見学の様子

西郷農業塾（修了式）が開講されました！

10月24日(日)、西郷村文化センターで西郷農業塾の修了式を兼ねた講座が開講され、塾生24家族が参加しました。西郷農業塾は野菜栽培の勉強や体験を希望する西郷村民を対象に、村が開催している塾で、塾生に畑の区画を割り当てての栽培実習や、野菜栽培の講義を行ってきました。

当日は、農業振興普及部職員が、家庭菜園を目的別に分類し、おすすめの品目や品種、栽培のポイントを講義した後、塾生との質疑応答、意見交換が行われました。「野菜栽培は初めてだったが、ブロッコリーが無事に収穫でき、おいしさに感激した。」「草むしりが大変だったが、野菜がかわいいと思えるようになった。」といった感想や、ペットボトルを利用したトウモロコシのハクビシン対策など、各自が栽培で工夫した内容が発表されました。



実習ほ場での質疑応答、塾生同士の情報交換の様子

修了式後、実習ほ場に移動して塾生が栽培しているダイコンなどの現物を教材として、活発な質疑応答、塾生同士での情報交換が行われました。今年度はコロナ禍により2回の開講でしたが、野菜栽培への関心、理解の深まりや塾生同士の交流が窺われました。

6次化商品販売会「しらかわ食・人フェア2021」を開催しました！

10月22日(金曜日)から26日(火曜日)までの5日間、イオン白河西郷店において、しらかわ・地域産業6次化推進協議会(事務局:県南農林事務所企画部)と県南販路拡大促進協議会との共催により6次化商品販売会「しらかわ食・人フェア2021」を開催しました。

県南地方を中心とした22団体が参加し、地元農林水産物を材料とした6次化商品100種類以上が店頭に並びました。プリンやパイ、団子などのお菓子類から漬物、辛子味噌、ウィンナーなどのご飯のおとも、クラフトビール、どぶろくなどの酒類まで、幅広い種類の商品が並び、多くの来店者に販売・PRを行いました。

来店者からは、「地元こんな商品があると知らなかった」「食べたことなくて気になる!」「この商品は普段どこで買えるのか?」など好評でした。



👉 販売会の様子

6次化商品とは？

1次・2次・3次の事業者が他産業と相互に連携・融合しながら、農林水産物や商品・加工品の付加価値を向上・創造する取組です。

フラワーアレンジメント教室が開催されました！

10月19日(火)、埴町の笹原小学校と埴小学校の児童を対象に、埴町の花である「ダリア」を用いたフラワーアレンジメント教室が開催されました。この教室は、福島花き振興協議会とJA東西しらかわの共催で、「花と親しみ、育てる機会」を設けることを目的として花育事業の一環で実施されています。

当日は、ダリア栽培農家の羽田利津子氏を講師に迎え、ダリアをはじめとした花の知識や花の取扱い方法のポイント、アレンジメント方法などの説明を受けた後、児童は町内で生産された花を使ってフラワーアレンジメント作りが行われました。

初めてフラワーアレンジメントに取り組む児童が多く、オアシスに花やグリーン(葉物)を挿すのに戸惑っていましたが、しだいに挿すのにも慣れて、真剣に作品づくりに取り組んでいました。完成後は、お互いの作品を見せ合って評価するなど、楽しい時間を過ごしていました。



👉 アレンジメント製作の様子
👉 講師からの説明

西郷ダムの堆砂状況および地山崩落状況の現地調査を実施しました！

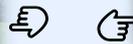
西郷ダムとは？

西郷ダムは国営事業により昭和30年5月に完成し、西郷村、白河市、泉崎村、中島村、石川町の1市1町3村に跨る水田 2,407haを潤すかんがい用ダムです。日常の維持管理は阿武隈川上流土地改良区が行なっており、春から秋のかんがい期間はダムに貯めた水の操作を行います。下流で水を必要としない冬期には水位を下げて、通常出来ない管理設備の点検修繕が行われます。

10月19日(火)、「台風などの大雨により上流から流れ込んだ土砂等の堆積状況」および「ダム湖面の波浪等による地山の洗掘や崩落状況」を調査する必要があるため、ドローンによる上空からの現地調査を農村整備部と共同で実施しました。

徒歩で現地調査する場合は足下が濡れて歩きづらい所へも、今回はドローンに付いているカメラの映像が手元の操作画面で確認できるため、空から素早く現地に移動し、必要があれば近寄り確認出来るため、かなりの調査時間を短縮できました。

調査結果は、ダム周辺に大きな被害は見受けられず来年の貯水に影響が無いことを確認できました。



現地調査の様子



コラム

県南地方の農産物直売所

Check!! ~「番外編」~

毎号県南地方の農産物直売所を1店ずつ紹介していましたが、今号はちょっと箸休め！！

県南農林事務所が主催した応募型キャンペーン(「夏の農産物スタンプラリー」)のプレゼント内容を直売所ごとに紹介します！

り菜あん



はとむぎ茶、トマトドレッシングなど

まるごと西郷館



西郷源流米、さしみこんにゃくなど

みりよく満点物語



ブルーベリージャム・ジュースなど

今年のキャンペーンは終了しましたが、直売所自慢のスペシャルな賞品が当たるキャンペーンを来年も開催予定です！

県南地方の直売所を訪れて、お気に入りの商品を見つけてみて！！

↓↓↓ 北條農園の6次化商品 ↓↓↓

白河市でももやりんごなど果樹を栽培する「北條農園」のりんごを使用した6次化商品をご紹介します！



- 👉 「北條農園」は土づくりや化学肥料・農薬の低減に取り組み、100年以上続く果樹農園です！
- 👉 生産するりんごは約20種類！！
- 👉 ビートルズの青リンゴ「グラニースミス」を散りばめたケーキは、りんごの酸味がケーキの甘さと相まって、食後の満足感がスゴい！！
- 👉 りんごパイは、パイの中にりんごの果肉がゴロツとギッシリ詰まっています、おやつにぴったりの一品！！
販売会では毎日売切れ必至の人気商品とのこと！



👉 りんごパイ



👉 りんごケーキ



👉 りんごジュース



👉 りんご飴

↓↓↓ ケーフーズ生田目の6次化商品 ↓↓↓

江戸時代中期からの伝統を受け継ぎ、昔ながらの手作りこんにゃくのほか、こんにゃくスイーツやハーブを使った6次化商品を開発する「ケーフーズ生田目」をご紹介します！！



- 👉こんにゃくのほか、青唐やカモミールなどを利用したバラエティに富んだ6次化商品がたくさんあります！
- 👉東白川地方の道の駅や農産物直売所で購入できます！！
- 👉これから栽培品目を増やす予定とのことなので、次はどんなものを使ってどんな6次化商品が開発されるのか楽しみです！

まるで果実なこんにゃく
スイーツ ARARE



#低カロリーでヘルシーなこんにゃくがデザートに！

#コリコリとした食感でヨーグルトにあわせておいしい！！

ぷりり



#ふくしまベストデザインコンペティション受賞！！

#地鶏の風味がたっぷりしみこんだこんにゃく！絶品！！

#お酒のおつまみにぴったり！

青唐みそこんにゃく



#ピリツと辛い青唐とみそ、こんにゃくが絶妙に合う！！

#ご飯はもちろんお肉やお魚にも美味しい一品です！

お知らせ

米価下落に伴う営農相談窓口を設置しました

令和3年度の米の概算金は、前年より大幅に下落し、農家の経営は大変厳しい状況となっています。このため、福島県では当面の資金繰りや令和4年度に向けた生産対策等の相談窓口を各農林事務所内に設置しました。

県南農林事務所の相談窓口は下記のとおりですので、来年の生産のための資金が不足している、主食用の水稻をやめて他の作物を作りたいなど、お困り毎がありましたら、こちらまでご相談ください。

Check!!

□県南農林事務所相談窓口

農業振興普及部 電話番号 0248-23-1562

新型コロナウイルス感染症の支援などに係る情報

○新型コロナウイルス感染症の影響を受けた農林業者への支援(県農林企画課 HP)

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36005b/corona01.html>

○コロナウイルス発症時の対応や農林業者等への国の支援等(農林水産省 HP)

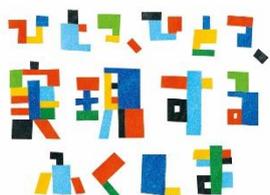
https://www.maff.go.jp/j/saigai/n_coronavirus/index.html

○当所の新型コロナウイルス感染症対策に関する相談窓口(8:30~17:15(土日祝日を除く))

農業・林業の経営相談に応じるとともに、対応可能な支援制度を紹介します。

・農業に関すること 農業振興普及部 電話 0248-23-1561

・林業に関すること 森林林業部 電話 0247-33-2121



お問い合わせ

福島県県南農林事務所 企画部 地域農林企画課

住所 福島県白河市昭和町 269 番地 (白河合同庁舎 4 階)

TEL 0248-23-1576 FAX 0248-23-1590

ホームページ <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36230a/>

